

大泉寺 (曹洞宗)

開山は応永元年(1394年)。大泉寺の建つ場所は、この地を開いて支配した鎌倉武士、小山田有重の居城跡。寺の歴史は、小山田有重が1227年に家督を子供の行重に譲った際、居城の西に隠棲した真言宗高昌寺に始まるという。山門は実に堂々とし、その階上には十六羅漢像が安置されているらしい。

小山田緑地

小山田緑地は町田市下小山田町の丘陵地帯の一部を公園としたもので、都立の公園として1990年(平成2年)6月に開園。広場や雑木林、池などからなる本園と、本園の北部に点在する分園から構成。小山田に残された多摩丘陵の自然を緑地として保全しようという目的のためのもの。

**** 本園:** 雑木林の丘陵の中にぽっかりと視界が開ける広場がある。「小山田の牧」と名付けられ、12世紀頃に馬の放牧が行われていた牧場の遺構であるという。広場の西側には一段高くなった丘があり、「みはらし広場」で標高は123m、園内では最も高所。本園東側部分は雑木林に囲まれた谷戸部で「小山田の谷」と名付けられたこの谷戸は本来は「宇津保沢」という地名。

**** 梅木窪分園:** ほとんどを雑木林が占め、北端にはアサザ池がある。アサザは水深の浅い池や沼などに群生する多年草で、夏に黄色い可憐な花を咲かせる。絶滅を心配されている希少種。

**** 大久保分園:** 分園の中央部あたりが谷戸の最も奥まったあたりで、「トンボ池」という池が横たわる。夏にはトンボが多く見られる池だが、他にもさまざまな水生植物や水辺の生き物の姿も見ることができる。

町田: 明治22(1889)年、本町田・原町田・森野・南大谷の4か村が合併して町田村に。「町」は田んぼの区画を意味し区画された田んぼ地で、町田に。